

1. 都市計画マスタープランとは

- 都市計画法第18条の2に基づく市町村の都市計画に関する基本的な方針
- 「新潟市総合計画」や新潟県が定める「新潟都市計画区域マスタープラン」に即して定めるものであり、本市の今後の都市づくりのあり方を示し、都市計画をはじめ、地域のまちづくりを共通の方向に進める指針となるもの
- 新潟市においては市の独自条例に基づき、策定・変更等の際は市議会の議決を要する

2. 改定の背景・経緯

- 都市計画基本方針（H20.7）の策定から**10年以上経過**
- 人口減少・少子高齢化の進展や激甚化・頻発化する自然災害、新型コロナウイルス感染症の世界的流行など、本市を取り巻く**社会情勢が変化**
- 新潟県の「都市計画区域マスタープラン」の改定を反映（県において改定作業中）

↓
今後の都市づくりのあり方を示し、まちづくりの指針とするため

新潟市議会定例会（R4.12）で議決

- ・都市計画、交通などの有識者による検討委員会を開催（R2.8～R4.6）
- ・区自治協議会において区別構想について検討（R2.8～R3.3）
- ・パブリックコメントを実施（R4.3～R4.4）
- ・新たな市総合計画策定（R4.12議会議決）における議論なども反映

3. 改定の方向性（ポイント）

- これまでの10年で目指してきたもの
 - ・量から質へ。ニーズの多様化といった成熟社会への対応に方向転換
 - ・目指す姿は「田園に包まれた多核連携型都市」
 - ・人口減少傾向を見据えた市街地形態の適切な維持

↓
これまでの都市づくりの考え方を継承しつつ、選ばれる都市へ

- 方向性の継承（継続を力に）
これまで取り組んできた「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」を目指すという**基本的な方向性は継承**
- 社会情勢の変化などを反映
本市を取り巻く「人口減少、少子・高齢化の進展」「SDGs」「防災・減災」「都心まちづくりの転機」といった**社会情勢の変化などを反映**
- 分かりやすさ
都市の将来像や方向性を共有するため、**イラストや写真などで分かりやすく表現**

4. これまでの検討の概要

●都市計画マスタープラン策定検討委員会（R2.8～R4.6 全7回）

（順不同・敬称略）

区分	氏名	所属団体など
委員	小池由佳	新潟県立大学人間生活学部教授
	佐藤由香子	新潟県建築士会新潟支部理事
	佐野可寸志	長岡技術科学大学大学院教授
	鈴木孝男	新潟食料農業大学食料産業学部教授
	田村圭子	新潟大学危機管理室教授
	富山栄子	事業創造大学院大学副学長・教授
	樋口秀	新潟工科大学工学部教授
	柳沢厚	都市プランナー（C-まち計画室代表）
オブザーバー	安藤善紀	新潟県土木部都市局都市政策課長

- ・**コンパクトな都市を目指す、という方向性の継承は妥当**
- ・都市と田園・自然の共生が新潟市の大きな特長であり、その強みをさらに伸ばし、お互いに高めあう「**共鳴**」する**というようなまちづくり**を目指してほしい
- ・**SDGsへの貢献**についても記載した方がよい
- ・**水災害リスクと土地利用（居住）規制をどうしていくかは慎重に考える必要がある**
- ・田園という強みを活かした、**新潟らしい暮らし方・働き方のイメージ作り**が重要
- ・今後10年、**何に力を入れ、どう変わるのか、イメージしやすいもの**としてほしい
- ・新潟が元気になるためには**都心の活性化が重要**。企業に選ばれるまちづくりを
- ・**方針の順番や構成を改めて整理**するなど、分かりやすいものとしてほしい
- ・**実現に向けた取り組みが重要**。夢や希望が持てるような内容にしてほしい。また、国や県のほか、市民や企業と連携して機会を逸しないよう取り組むことが重要

●パブリックコメント（R4.3～R4.4 4名から36の意見）

- ・鉄道やバスに注視しているが、自動車利用率の異常な高さや自転車・徒歩の低さが気になる。この問題点を掘り下げ、**脱炭素社会へ向けての本気の取り組み**を望む。
- ・道路整備や都市計画道路の見直しに限らず、**公共交通利用促進の観点から都心への自動車乗り入れを制約**する交通セルの導入検討も盛り込む必要がある。
- ・新潟市の「**まちの特性・個性・成り立ち**」の掘り下げが浅いのでは。
- ・市街地や田園はどの市にもあるため、**新潟市の特徴・個性が伝わる表記**をしては。
- ・**将来イメージに「新潟らしさ」が感じられない**。この絵は他都市でも適用できる。「みなとまち」など、歴意を踏まえた新潟らしい将来イメージを作っては。
- ・地球温暖化による気温の上昇も懸念事項。都市の将来イメージでは開放的な街並みだが、**熱中症の懸念があるのでは。日よけや地表の遮熱化などが必要**では。

新潟市都市計画マスタープラン -新潟市都市計画基本方針- 概要

第1章 目的と位置づけ

- ①目的
都市の持続的な発展と市民が暮らしやすさを実感できる都市の実現
- ②位置づけ・目標年次
・都市計画法に基づく基本方針。市総合計画・県都市計画区域マスタープランに即す
・概ね20年後を展望したうえで、10年後の2032(令和14)年度を目標年次とする

第2章 都市づくりの視点

- ①本市を取り巻く状況(現状と課題)
- (1) 人口減少・少子高齢化
 - (2) 持続可能な都市づくり
 - (3) グローバル経済への対応
 - (4) ライフスタイルや価値観の多様化
 - (5) 激甚化・頻発化する自然災害
 - (6) 都心まちづくりの転機
- ②今後の都市づくりの視点
- (1) 人口減少社会に適応する
 - (2) 人口減少を和らげる
 - (3) 持続可能性
 - (4) 安心・安全(強靱化)
 - (5) 暮らしやすさ

全市

第3章 都市づくりの基本的な考え方(理念)と目指す都市の姿

①基本的な考え方(理念):全市レベルでは「持続的に発展する都市」、地域レベルでは「誰もが暮らしやすい個性ある地域」

②目指す都市の姿

市街地と田園・自然の多様な魅力が人をつなぐ多核連携都市 新潟

- (1)市街地と田園・自然の共生・共鳴
市街地拡大は原則抑制しつつ、市街地と田園・自然が共生・共鳴する関係を維持
- (2)都市・地域の拠点の機能強化
都市機能を集積し、都市の中心となる都心や地域の生活の中心となる拠点の機能を強化
- (3)拠点間の連携強化
道路、公共交通などのネットワークを強化し、拠点間の連携・交流を強化

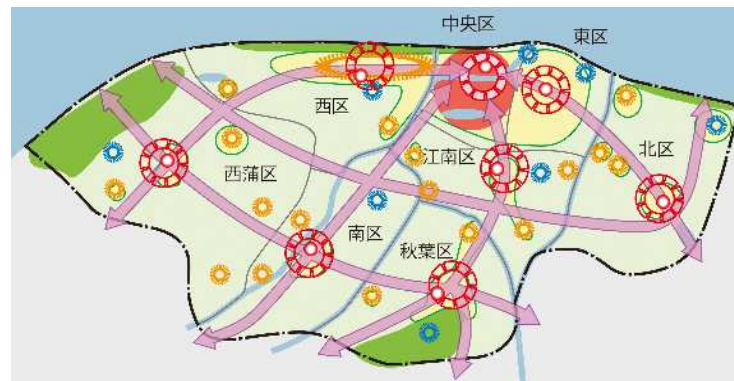


図 都市構造の全体イメージ(概念図)

各区

第5章 区別構想

- ①区の概要
- ②現状と課題
- ③区づくりの方向性(まちづくりの将来像)

第6章 実現に向けた取組

- ①都市計画分野における3つの制度
 - (1)地区環境保全・再生まちづくり制度
 - (2)郊外土地利用の調整制度
 - (3)田園集落づくり制度
- ②主要なプロジェクト
- ③多様な主体との連携・協働

第4章 都市・地域づくりの方針

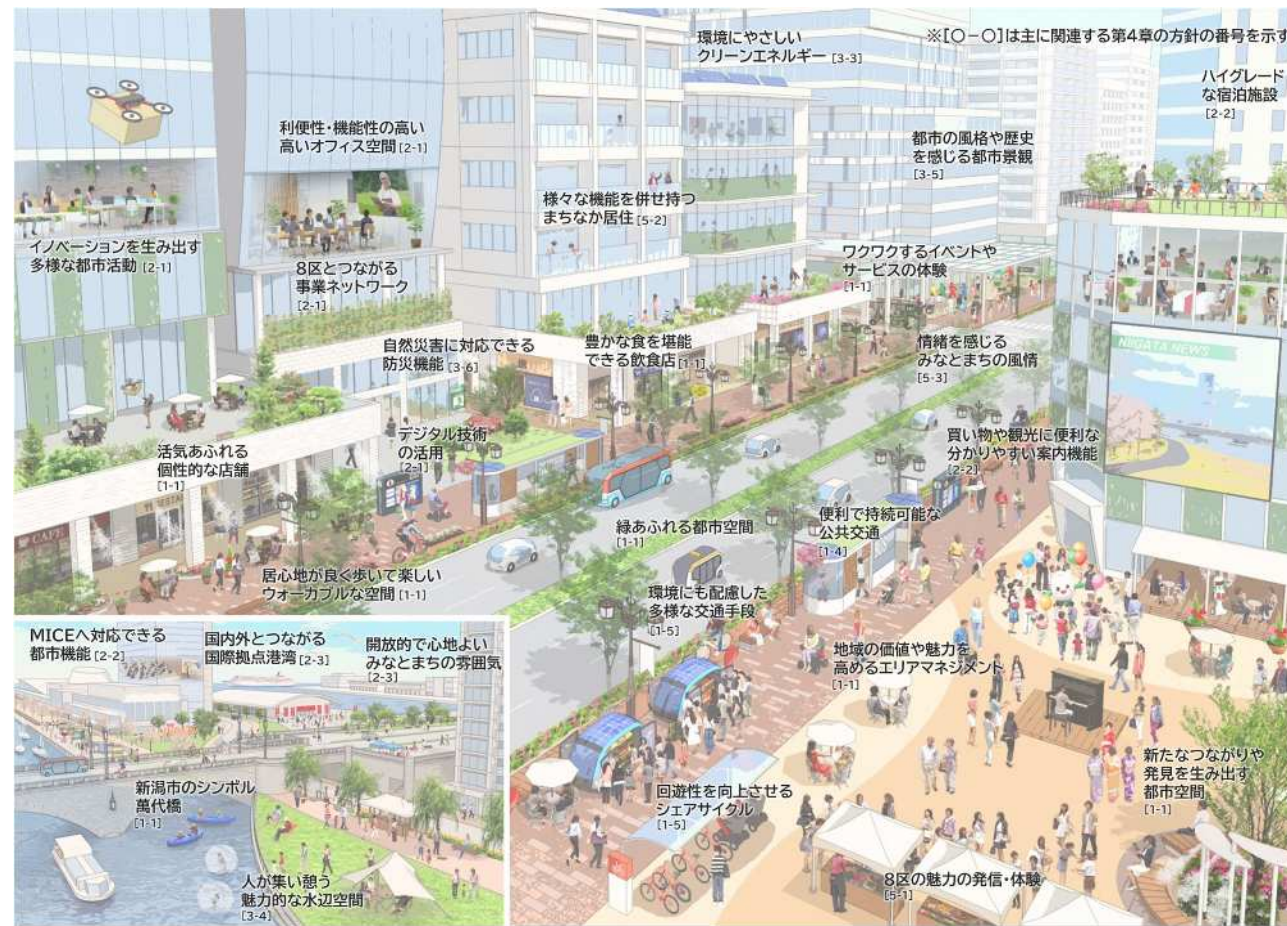
- 基本方針1 多様な拠点がネットワークでつながる多核連携都市
 - 方針1-1: 都心の魅力と価値を高める
 - 方針1-2: 地域のまちなかに活気をつくる
 - 方針1-3: 機能別の拠点をつくる
 - 方針1-4: 道路や公共交通のネットワークをつくる
 - 方針1-5: 環境や人にやさしい公共交通をつくる
- 基本方針2 国内外とつながる活力あふれる産業・交流都市
 - 方針2-1: 魅力的な産業の創出を支える都市環境をつくる
 - 方針2-2: 地域資源を磨き、都市の魅力を高める
 - 方針2-3: 国際的な拠点機能を強化する
 - 方針2-4: 広域的な連携機能を強化する
- 基本方針3 田園・自然と市街地が共生・共鳴する環境・安全都市
 - 方針3-1: 田園・自然と市街地が共生・共鳴する都市構造を維持する
 - 方針3-2: 豊かな田園・自然環境を保全し賢明な利用を図る
 - 方針3-3: 環境に配慮した脱炭素型の都市をつくる
 - 方針3-4: 緑豊かで潤いを感じる都市環境をつくる
 - 方針3-5: 個性ある美しい景観を形成する
 - 方針3-6: 自然災害に強い都市をつくる
- 基本方針4 それぞれの地域で安心して暮らし続けることができるまち
 - 方針4-1: 便利なまちなかをつくる
 - 方針4-2: 生活圏で快適に移動できる環境をつくる
 - 方針4-3: 誰もが安心して暮らせる環境をつくる
 - 方針4-4: 安全で快適な住まい環境をつくる
- 基本方針5 地域の個性を活かした多様な暮らし方ができるまち
 - 方針5-1: 都市と農村の交流で新たな価値をつくる
 - 方針5-2: 多様な暮らし方ができる住環境をつくる
 - 方針5-3: 地域の資源を保全・活用し誇りや愛着を育むまちをつくる



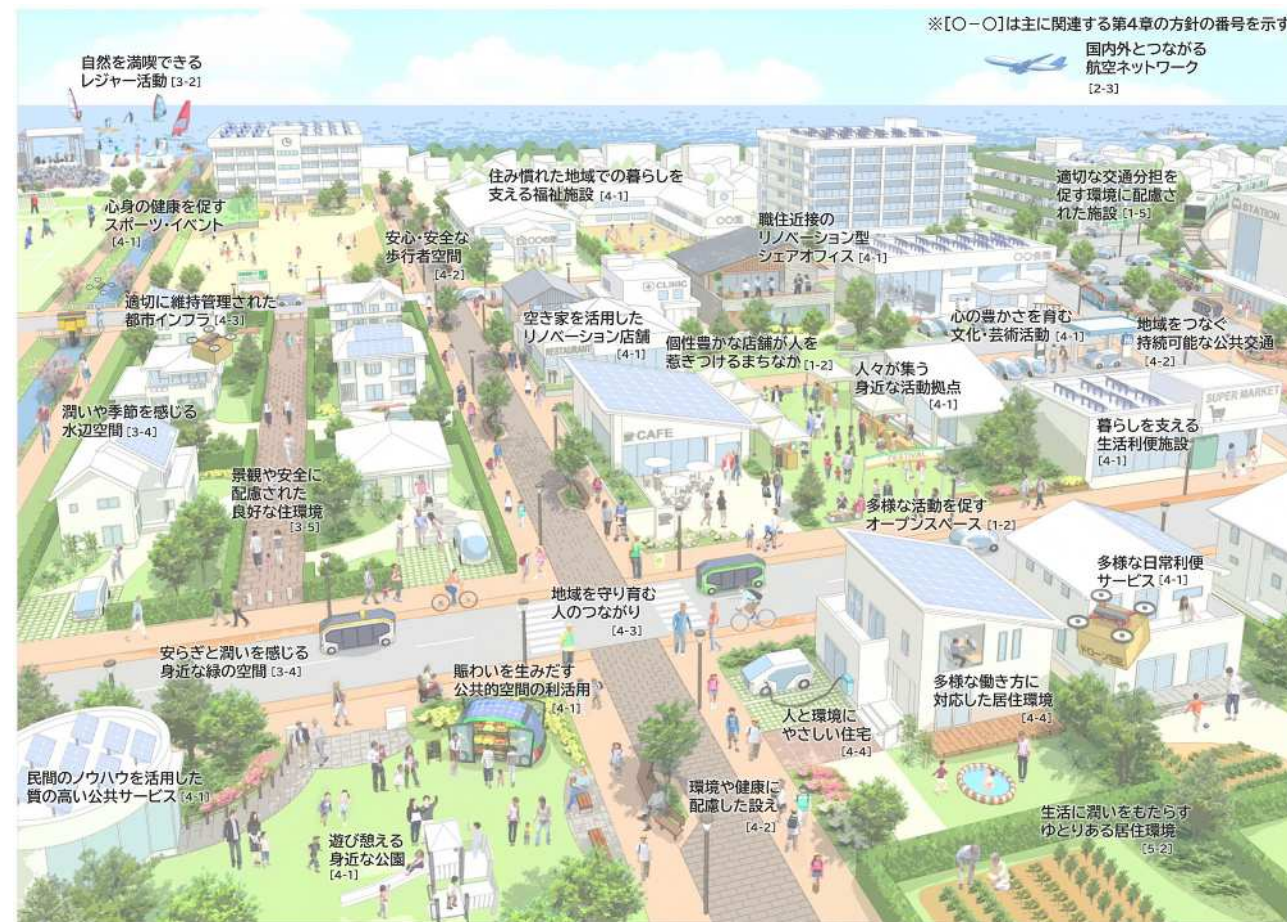
図 拠点とネットワークによる都市構造イメージ

■都市計画マスタープランの目指す都市の将来イメージ

①都心の将来イメージ



②拠点(地域拠点や生活拠点)の将来イメージ



③田園集落の将来イメージ



※このイメージ図は、実在する場所や建物を描いたものではなく、都市計画基本方針が目指す方向性の要素を凝縮して描いた将来イメージの一例です。都市活動や暮らしの将来イメージを視覚的に分かりやすく示すことで、新潟市で暮らし・活動する市民や事業者の皆さんと一緒に都市の将来像を考え、実現を目指していく一助とすることを目的としています。